Cisco UCS サーバの管理

この章は、次の項で構成されています。

- サーバ管理，1 ページ
- サーバの電源オン，2 ページ
- サーバの電源オフ，2 ページ
- サーバの KVM コンソールの起動，2 ページ
- KVM コンソールを使用したサーバへの直接アクセス，3 ページ
- サーバのインベントリ収集のリクエスト，3 ページ
- サーバの診断割り込みの実行，4 ページ
- サーバのリセット，4 ページ
- サーバの再確認，5 ページ
- サーバの稼働停止，5 ページ

サーバ管理

Cisco UCS Director を使用して Cisco UCS ドメイン内のすべてのブレード サーバおよびラックマウント サーバを管理およびモニタできます。

管理対象のサーバの選択方法については、選択対象サーバの管理を参照してください。

サーバの電源オン

ステップ 1 メニューバーで [物理（Physical）] > [コンピューティング（Compute）] の順に選択します。
ステップ 2 左側のペインで Pod を展開し、Cisco UCS Manager アカウントをクリックします。
ステップ 3 右側のペインで [UCS サーバ（UCS Servers）] タブをクリックします。
ステップ 4 電源をオンにするサーバのテーブル内の行をクリックします。
ステップ 5 [電源オン（Power On）] をクリックします。
ステップ 6 [送信（Submit）] をクリックします。

サーバの電源オフ

ステップ 1 メニューバーで [物理（Physical）] > [コンピューティング（Compute）] の順に選択します。
ステップ 2 左側のペインで Pod を展開し、Cisco UCS Manager アカウントをクリックします。
ステップ 3 右側のペインで [UCS サーバ（UCS Servers）] タブをクリックします。
ステップ 4 電源をオフにするサーバのテーブル内の行をクリックします。
ステップ 5 [電源オフ（Power Off）] をクリックします。
ステップ 6 [送信（Submit）] をクリックします。

サーバの KVM コンソールの起動

ステップ 1 メニューバーで [物理（Physical）] > [コンピューティング（Compute）] の順に選択します。
ステップ 2 左側のペインで Pod を展開し、Cisco UCS Manager アカウントをクリックします。
ステップ 3 右側のペインで [UCS サーバ（UCS Servers）] タブをクリックします。
ステップ 4 KVM コンソールを起動するサーバのテーブル内の行をクリックします。
ステップ 5 [KVMコンソールの起動（Launch KVM Console）] をクリックします。
ステップ 6 [送信（Submit）] をクリックします。
Cisco UCS Director によって `kvm.jnlp` ファイルがダウンロードされます。
ステップ 7 ダウンロード フォルダ内の `kvm.jnlp` ファイルをダブルクリックします。

[KVMコンソール（KVM Console）] が別ウィンドウで開きます。

必要な Java ランタイム環境（JRE）がインストールされていない場合は、ダイアログボックスの [関連情報（More Info）] をクリックし、画面の手順に従って JRE をダウンロードしてインストールします。

KVM コンソールを使用したサーバへの直接アクセス

KVM コンソールを使用して UCS サーバに直接アクセスできます。

ステップ 1 メニューバーで [物理（Physical）] > [コンピューティング（Compute）] の順に選択します。

ステップ 2 左側のペインで Pod を展開し、Cisco UCS Manager アカウントをクリックします。

ステップ 3 右側のペインで [UCS サーバ（UCS Servers）] タブをクリックします。

ステップ 4 KVM コンソールを使用して直接アクセスするサーバの表内の行をクリックします。

ステップ 5 [KVM 直接アクセス（KVM Direct Access）] をクリックします。

ステップ 6 [送信（Submit）] をクリックします。
[KVMコンソール（KVM Console）] が別ウィンドウで開きます。

ステップ 7 ユーザ名とパスワードを入力し、ドメインを選択します。

ステップ 8 [KVMの起動（Launch KVM）] をクリックします。

サーバのインベントリ収集のリクエスト

ステップ 1 メニューバーで [物理（Physical）] > [コンピューティング（Compute）] の順に選択します。

ステップ 2 左側のペインで Pod を展開し、Cisco UCS Manager アカウントをクリックします。

ステップ 3 右側のペインで [UCS サーバ（UCS Servers）] タブをクリックします。

ステップ 4 インベントリ収集をリクエストするサーバのテーブル内の行をクリックします。

ステップ 5 [インベントリ収集のリクエスト（Request Inventory Collection）] をクリックします。

ステップ 6 [送信（Submit）] をクリックします。

サーバの診断割り込みの実行

ステップ 1 メニューバーで [物理（Physical）] > [コンピューティング（Compute）] の順に選択します。

ステップ 2 左側のペインで Pod を展開し、Cisco UCS Manager アカウントをクリックします。

ステップ 3 右側のペインで [UCS サーバ（UCS Servers）] タブをクリックします。

ステップ 4 診断割り込みを実行するサーバのテーブル内の行をクリックします。

ステップ 5 [サーバメンテナンス（Server Maintenance）] をクリックします。

ステップ 6 [サーバメンテナンス（Server Maintenance） ダイアログボックスで、次の手順を実行します。

a) [サーバメンテナンス（Server Maintenance）] ドロップダウン リストから、[診断割り込み（Diagnostic Interrupt）] を選択します。

b) [Yes] をクリックします。

Cisco Integrated Management Controller（CIMC）から BIOS またはオペレーティング システムに対して Non Makeable Interrupt（NMI）が実行されます。このアクションにより、サーバにインストールされているオペレーティング システム応じて、コア ダンプまたはスタック トレースが作成されます。

サーバのリセット

ステップ 1 メニューバーで [物理（Physical）] > [コンピューティング（Compute）] の順に選択します。

ステップ 2 左側のペインで Pod を展開し、Cisco UCS Manager アカウントをクリックします。

ステップ 3 右側のペインで [UCS サーバ（UCS Servers）] タブをクリックします。

ステップ 4 リセットするサーバのテーブル内の行をクリックします。

ステップ 5 [リセット（Reset）] をクリックします。

ステップ 6 [送信（Submit）] をクリックします。

サーバの再確認

Cisco UCS Manager にサーバ、およびそのサーバのすべてのエンドポイントを再検出させる必要がある場合は、次の手順を実行します。たとえば、サーバがディスカバリ状態など、予期していなかった状態から抜け出せなくなっている場合に、この手順を使用します。

ステップ 1 メニューバーで [物理（Physical）] > [コンピューティング（Compute）] の順に選択します。

ステップ 2 左側のペインで Pod を展開し、Cisco UCS Manager アカウントをクリックします。

ステップ 3 右側のペインで [UCS サーバ（UCS Servers）] タブをクリックします。

ステップ 4 使用禁止にするサーバのテーブル内の行をクリックします。

ステップ 5 [サーバメンテナンス（Server Maintenance）] をクリックします。

ステップ 6 [サーバメンテナンス（Server Maintenance）] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。

a) [サーバメンテナンス（Server Maintenance）] ドロップダウン リストから、[再認識（Re-acknowledge）] を選択します。

b) [Yes] をクリックします。

サーバを切断し、サーバとシステム内の 1 つまたは複数のファブリックインターコネクトの間の接続を構築するよう、Cisco UCS Director から Cisco UCS Manager へリクエストが送信されます。確認が終了するまでに数分かかる場合があります。

サーバの稼働停止

ステップ 1 メニューバーで [物理（Physical）] > [コンピューティング（Compute）] の順に選択します。

ステップ 2 左側のペインで Pod を展開し、Cisco UCS Manager アカウントをクリックします。

ステップ 3 右側のペインで [UCS サーバ（UCS Servers）] タブをクリックします。

ステップ 4 使用禁止にするサーバのテーブル内の行をクリックします。

ステップ 5 [サーバメンテナンス（Server Maintenance）] をクリックします。

ステップ 6 [サーバメンテナンス（Server Maintenance）] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。

a) [サーバメンテナンス（Server Maintenance）] ドロップダウン リストから、[使用禁止（Decommission）] を選択します。

b) [理由（Reason）] フィールドに、サーバを使用禁止にする理由を入力します。

c) [Yes] をクリックします。

Cisco UCS Director によって当該サーバがシャットダウンされ、Cisco UCS 設定から削除されて、[使用禁止のUCSサーバ（Decommissioned Servers）] タブに追加されます。